

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標1_子育て・教育】

施策 1-2_家庭、地域の教育力の向上

基本計画		事業番号	細事業名称
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	03203_01	放課後児童クラブ運営事業
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	03203_03	放課後児童クラブ障がい児対策事業
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	03367_01	放課後児童クラブ施設整備事業
1-02-02	学校・家庭・地域の連携協働の推進	10618_01	学校・家庭・地域連携推進事業
1-02-03	青少年健全育成の推進	10101_01	成人式開催事業
1-02-03	青少年健全育成の推進	10104_01	補導活動充実事業
1-02-03	青少年健全育成の推進	10619_01	旧別子ハイツ自然学習館解体事業

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	03203_01	
事業名(行目名称)		放課後児童対策費		細事業名			放課後児童クラブ運営事業
総合計画	まちづくり	子育て・教育		施策			家庭、地域の教育力の向上
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進		担当課			学校教育課
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	就労している保護者とその児童(小学校1～6年生)			数値	31クラブ	
	手段(どうやって)	令和4年10月1日現在、市内15校区、31クラブを開設しています。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	就労又は疾病のため放課後児童クラブの入会を希望する保護者が、安心して預けられるような児童の居場所づくりに努める。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		138,111	160,710	160,710	142,469	○報酬 126,890千円 ○職員手当等 17,419千円 ○共済費 1,112千円 ○報償費 16千円 ○旅費 4,644千円 ○需用費 6,761千円 ○役務費 2,593千円 ○使用料及び賃借料 397千円 ○備品購入費 878千円	
財源	県・国支出金	65,997	79,950	79,950	70,375		
	地方債		0	0			
	その他	40,593	40,785	40,785	41,842		
	一般財源	31,521	39,975	39,975	30,252		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
開設クラブ数		目標値	30	30	31	31	31
		実績	30	30	31	31	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
今年度新たに1クラブを増設したが、指導員の確保に課題がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
児童の健全育成、保護者の就労支援のために今後も事業を継続していく必要がある。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
児童の健全育成、保護者の就労支援のために今後も事業を継続していく必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	03203_03		
事業名(行目名称)		放課後児童対策費	細事業名	放課後児童クラブ障がい児対策事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	就労している障がい児(小学校1～6年生)をもつ保護者とその児童		数値	5クラブ		
	手段(どうやって)	加配指導員を配置する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	加配指導員を配置し、障がい児の受け入れ環境を整える。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		1,510	6,604	6,604	2,322	○報酬 5,396千円 ○職員手当等 900千円 ○共済費 56千円 ○旅費 252千円	
財源	県・国支出金	1,004	4,402	4,402	1,540		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	506	2,202	2,202	782		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
障がい児童数		目標値	15	15	70	70	70
		実績	63	75	68	68	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>放課後デイサービスの利用を希望していても、利用することができず、結果的に放課後児童クラブを利用する児童が増加傾向にある。今後も引き続き受け入れ体制の構築をする必要がある。 令和3年度までは総クラブ総数(15)を目標値としていたが、令和4年度より目標値について障がい児童数とした見直しを行った。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>インクルーシブの観点からも利用者の要望に沿った支援を行う必要がある。そのためには、支援を要する児童を安全にお預かりするために、今後も事業を継続していく必要がある。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>インクルーシブの観点からも、利用者の要望に沿った支援を行う必要があるため、今後も加配指導員を配置する必要がある。</p>							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	03367_01		
事業名(行目名称)		放課後児童クラブ施設整備事業	細事業名	放課後児童クラブ施設整備事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	就労している保護者とその児童(小学校1～6年生)		数値	31クラブ		
	手段(どうやって)	施設整備が必要な放課後児童クラブについて対応するため。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	就労又は疾病のため放課後児童クラブの入会を希望する保護者が、安心して預けられるような児童の居場所づくりに努める。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			2,574	2,574	0	○工事請負費 2,574千円	
財源	県・国支出金		1,716	1,716	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		858	858	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
整備クラブ数		目標値	2	0	1	1	0
		実績	2	0	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
放課後児童クラブ増設に伴う、エアコンの移設工事(王子幼稚園分)を行った。緊急工事となったため、運営事業の施設修繕料で対応した。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
新たにクラブを増設する予定はないため、予算要望はしない。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	D:事業の統合・休廃止を検討				
今後必要があれば検討し、実施していく。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10618_01		
事業名(行目名称)		学校・家庭・地域連携推進事業費	細事業名	学校・家庭・地域連携推進事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	学校・家庭・地域の連携協働の推進	担当課	学校教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	公立小中学校		数値	27校		
	手段(どうやって)	社会総がかりで子どもたちを育むために、全ての公立小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を確立することで、地域に開かれた特色ある学校づくりを進める。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの多様な学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習や自己実現に資するとともに、学校を支援する活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			33,944	33,944	26,666	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 668千円 ○旅費 264千円 ○需用費 166千円 ○役員費 882千円 ○委託料 31,746千円 ○使用料及び賃借料 80千円 ○備品購入費 138千円 	
財源	県・国支出金		17,480	17,480	13,470		
	地方債		0	0			
	その他		0	0	0		
	一般財源		16,464	16,464	13,196		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
コミュニティ・スクール数(累計)		目標値	27	27	27	27	27
		実績	27	27	27	27	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
地域人材の育成・配置等により、教職員の業務改善につなげていく必要がある。また、各校ごとに特色のある取組につながるよう、さらなる支援の充実を図ることが重要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
各校区の取組事例を紹介し、全市的なコミュニティ・スクールの推進と運営の充実を図る。「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校・家庭・地域の連携・協力体制の強化を図る。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
各校の取組や課題を共有するための協議会を開催する等、今後も各校の特色ある取組の充実につながる支援を行っていく。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10101_01		
事業名(行目名称)		青少年育成強化費	細事業名	成人式開催事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	青少年健全育成の推進	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市在住及び市外在住で式典に出席を希望する20歳の方	数値	1,001人			
	手段(どうやって)	社会教育委員会議において、式典の開催方法、アトラクションの内容の改善等について検討を行った。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	20歳を迎える方が、初めて大人としての責任を自覚するとともに、自ら楽しみかつ地域の祝福を感じる事の出来る成人式典を開催する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		974	268	268	225	○報償費 79千円 ○需用費 97千円 ○役務費 92千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	974	268	268	225		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
参加率		目標値	78	78	1月実施	78	78
		実績	0	43	1月実施	65	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和4年4月1日民法改正の施行により成年年齢が18歳に引き下げられたことにより名称を「新居浜市 はたちの集い」に変更し、これまでどおり20歳の方を対象に式典の開催に向け準備を進める。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
今後も式典は、継続して開催する。なお、今後は、自分たちで企画・立案する参画型の式典導入を進める。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		B: 事業の進め方の改善検討				
感染症対策の徹底を図ったうえで円滑に、「はたちの集い」を開催することができた。また、式典の名称を成人式から「はたちの集い」に変更したことから、より魅力のある内容とするため、令和4年11月17日から12月20日までの間、プチモニアンケートにて、どのような催しをしたらよいか、式典対象者による企画、運営等について、調査を行ったが、「はたちの集い」に参加する10代の回答が少なかった。来年度は高校、高専等の学生に回答をしてもらうよう、学校に協力依頼を行い、再度プチモニアンケートを実施し、「はたちの集い」の進め方について検討を行う。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	10104_01		
事業名(行目名称)		補導活動充実費		細事業名	補導活動充実事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育		施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	青少年健全育成の推進		担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	少年補導委員			数値	190人(R4.4月現在)		
	手段(どうやって)	市少年補導委員総会1回、市少年補導委員研修大会1回開催する。また、より効果的な活動を目指し、四国大会等各種研修事業の実施及び参加を行う。また、補導活動を行う際に着用する「少年補導委員」のネーム入りポロシャツ・ジャンパーを計画的に購入する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	各種研修を受けることにより、少年非行の現状及び青少年の特性を理解し、補導技術の向上及び意識の高揚を図り、市内の児童・生徒等の適切な補導活動を行い、不良行為少年等の減少をはかる。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○報償費 46千円 ○旅費 230千円 ○需用費 479千円 ○負担金補助及び交付金 9千円		
経費		84	764	764	359			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	84	764	764	359			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
街頭補導(指導・声かけ含む。)延人数/市内児童・生徒・有職、無職少年(6歳~19歳)			目標値	0.0197	0.0196	0.0098	0.0195	0.0194
			実績	0.007	0.0067	0.0049	0.0077	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染拡大により、東予地区研修大会(今治市)がWeb開催に、また、四国大会(松前町)が中止になったことから、費用弁償や負担金が未執行になった。また、昨年度に引き続き、花火大会、夜市などが中止になり、特別補導の実績もコロナ前に比べ、少なくなった。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
少年補導委員市長表彰記念品、標語入選者記念品、各大会の費用弁償等について予算要求を行う。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
補導活動中に着用する「少年補導委員」のネーム入りポロシャツを予定どおり購入することができた。これにより、「見せる補導」の徹底を図りたいと考えている。市主催では、市少年補導委員総会は、新型コロナウイルス感染症拡大により書面開催となったが、研修大会は予定どおり開催することができた。また、四国大会は中止となったが、青少年健全育成推進大会(大洲市)、青少年の非行被害防止県民大会(松山市)、愛媛県少年補導委員研修大会(松山市)は、予定どおり開催され、それぞれ少年補導委員を派遣することができた。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	10619_01		
事業名(行目名称)		旧別子ハイツ自然学習館解体事業	細事業名	旧別子ハイツ自然学習館解体事業			
総合計画	まちづくり	子育て・教育	施策	家庭、地域の教育力の向上			
	基本計画	青少年健全育成の推進	担当課	社会教育課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	旧別子ハイツ自然学習館		数値	1		
	手段(どうやって)	令和4年3月31日に廃止した旧別子ハイツ自然学習館の施設解体工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市所有の土地でないため更地にする。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費			26,761	26,761	25,935		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		23,300	23,300	4,100		
	その他		0	0	0		
	一般財源		3,461	3,461	21,835		
○需用費 399千円 ○役務費 14千円 ○使用料及び賃借料 641千円 ○工事請負費 25,707千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
工事進捗率		目標値			70	100	—
		実績			70	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
令和4年3月31日に廃止した旧別子ハイツ自然学習館を引き続き解体作業を進める。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止				
施設が廃止となっているため、予算要望しない。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
予定どおり施設の解体が完了し、賃借していた用地についても令和5年3月31日に賃貸借契約を解除した。							